

第3学年 技術・家庭科（技術分野） 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

2. 学習計画

学習項目	学習のねらい
生活や社会と情報の技術	○情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫や仕組みを調べる。 ○情報の技術が生活や社会で果たしている役割をまとめる。
情報とコンピュータ	○コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。 ○プログラムによる処理の自動化の方法や処理の流れや手順を表す方法を知る。
情報の表現と伝達	○情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫、情報の表現手段やコンテンツの特徴、情報通信ネットワークのしくみを知る。
双方向性のあるコンテンツによる問題解決	○双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ○課題の解決策を、条件を踏まえて構想する
計測・制御による問題解決	○情報の技術の学習を振り返り、家庭や学校生活における計測・制御に関わる身近な不便さから問題を見だし、課題を設定する。
これからの情報の技術	○情報の技術での学習や情報の技術の見方・考え方について考える。 ○情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。

3. 評価

観点項目	評価の方法
知識・技能	提出物(ワークシート・ファイル・ワーク)・定期テスト・成果物
思考・判断・表現	実習・作品・レポート・ワークシート・学習の記録
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み(作品・実技テスト・定期テスト・学習の記録)・提出物(ワークシートなど)

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

技術分野は、技術という方法・手段を学ぶとともに、自身の能力である技能を伸ばしていく教科です。様々な技術を通して自身の技能を高められるように授業や課題に全力で取り組んでください。その中で様々な困難に直面すると思います。そうしたことを解決するために努力する中で自分の課題解決能力を高めていき、生活に必要な学力（確かな学力）を身に付けていってほしいと思います。また、3年生は家庭分野との隔週の授業になります。毎回の授業に集中して取り組むとともに、課題等の提出物もしっかりと取り組んでください。